

わくわく



笑顔あふれる運動会

(涌谷修紅幼稚舎)

一年間の成果は.....	〈30年度決算〉	2
事業は適切に行われたか.....	〈決算審査特別委員会〉	7
町政を問う9人の提言.....	〈一般質問〉	11
副町長の選任に同意.....	〈議案・補正〉	21
皆さんの声を紹介.....	〈キラキラVoice〉	24

平成 30 年度 一般会計・特別会計歳入歳出決算総額

(万円未満省略)

	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計決算総額	74億9084万円	73億8473万円	1億611万円
	歳入決算額	歳出決算額	差引額
特別会計決算総額	42億4775万円	41億1838万円	1億2937万円

※差引額については、端数処理の関係上、数字が合わない場合があります。

決

9月会議

算

農林水産業費



金のいぶき定着化推進事業補助金 100万円

「金のいぶき」をブランド米として定着させるため、PR活動や積極的な販売促進などを行いました。

9月会議は9月19日から26日までの8日間（休会3日間含む）で開催されました。
今年1月から空席となっていた副町長の選任同意など人事案件6件、報告4件、条例の一部改正や各会計の令和元年度補正予算など、議案19件を審議し原案どおり可決しました。一般質問には9人の議員が登壇し、13項目について町政をただしました。
平成30年度各会計歳入歳出決算の認定については、議員全員による決算審査特別委員会を開催して2日間慎重に審議し、すべての会計の決算を認定しました。

介護保険事業勘定特別会計



認知症リスク調査事業 888万円

平成26年度からの調査により、当町の認知症に関するリスクや課題を科学的に解明しました。

下水道事業会計



雨水排水施設整備事業 8365万円

アルプスアルパイン株式会社涌谷工場前の排水路工事は、今年度181.5メートルが完成し、全体の完成延長が522メートルとなりました。

平成 30 年度決算

活力ある住みよいまちへ

にぎわい取り戻し、安心安全のまちづくり

議会注目事業

※決算額は 30 年度のみについてです。
複数年度にわたる事業もありますのでご注意ください。

総務費



地域おこし協力隊事業 858 万円

隊員 2 名が「食」及び「観光」にまつわる活性化を図りました。

総務費



わくや新生活応援補助事業 861 万円

移住世帯などに、住宅取得費用の一部を補助しました。
30 年度実績は、補助件数 18 件、移住者数 46 人でした。

教育費

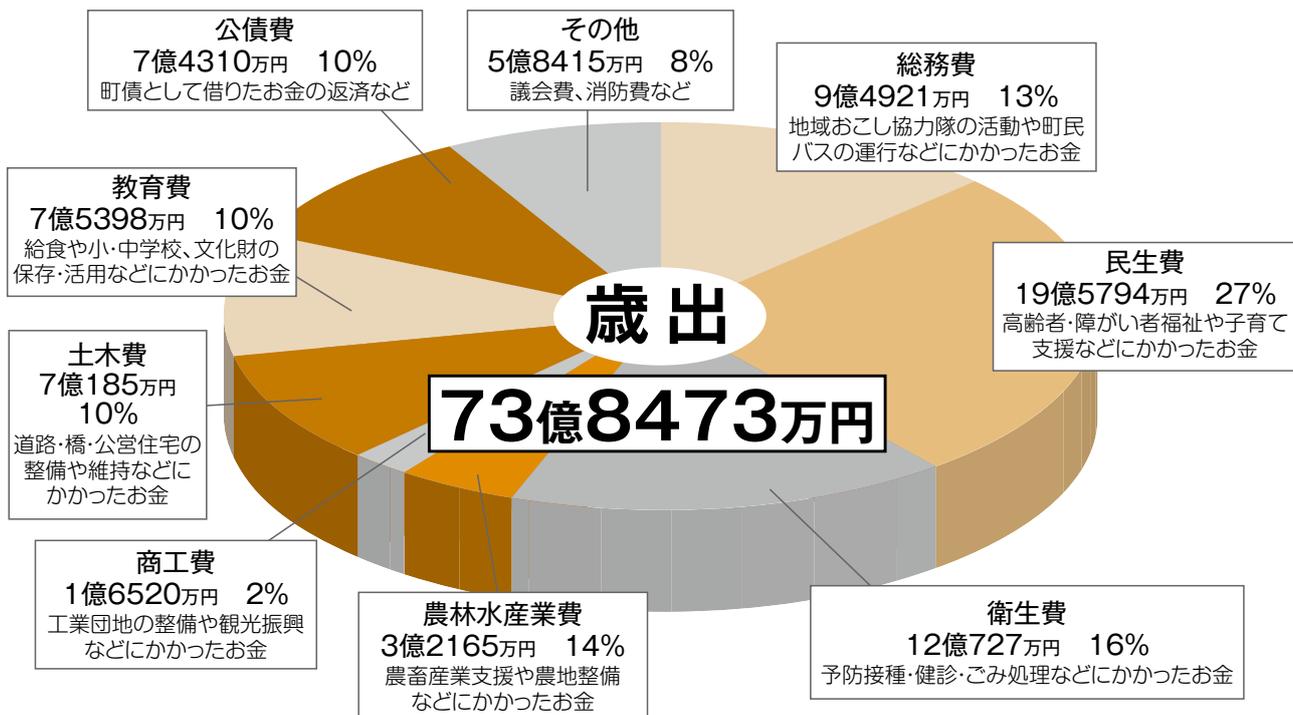


イングリッシュキャンプ事業 224 万円

中学生を対象に 3 泊 4 日の英語研修を行い、英語で課題を考える力やプレゼンテーションスキルを育成しました。

増加 震災以降最高額更新

投資的経費は5%にとどまる



※グラフの中の決算額については、整合性を取るために端数処理を行っています。

平成 30 年度特別会計および企業会計決算

(万円未満省略・税抜き)

特別会計歳入歳出決算			
会計名	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険事業勘定特別会計	22億1212万円	21億2946万円	8265万円
後期高齢者医療保険事業勘定特別会計	1億6907万円	1億6476万円	431万円
介護保険事業勘定特別会計	18億6655万円	18億2415万円	4240万円
企業会計収益的収入支出決算			
会計名	収入総額	支出総額	差引額
水道事業会計	4億2036万円	3億9451万円	2585万円
下水道事業会計	5億7299万円	5億526万円	6773万円
国民健康保険病院事業会計	19億1423万円	20億7529万円	▲1億6106万円
老人保健施設事業会計	4億8756万円	5億254万円	▲1497万円
訪問看護ステーション事業会計	5659万円	6002万円	▲343万円

※差引額については、端数処理の関係上、数字が合わない場合があります。

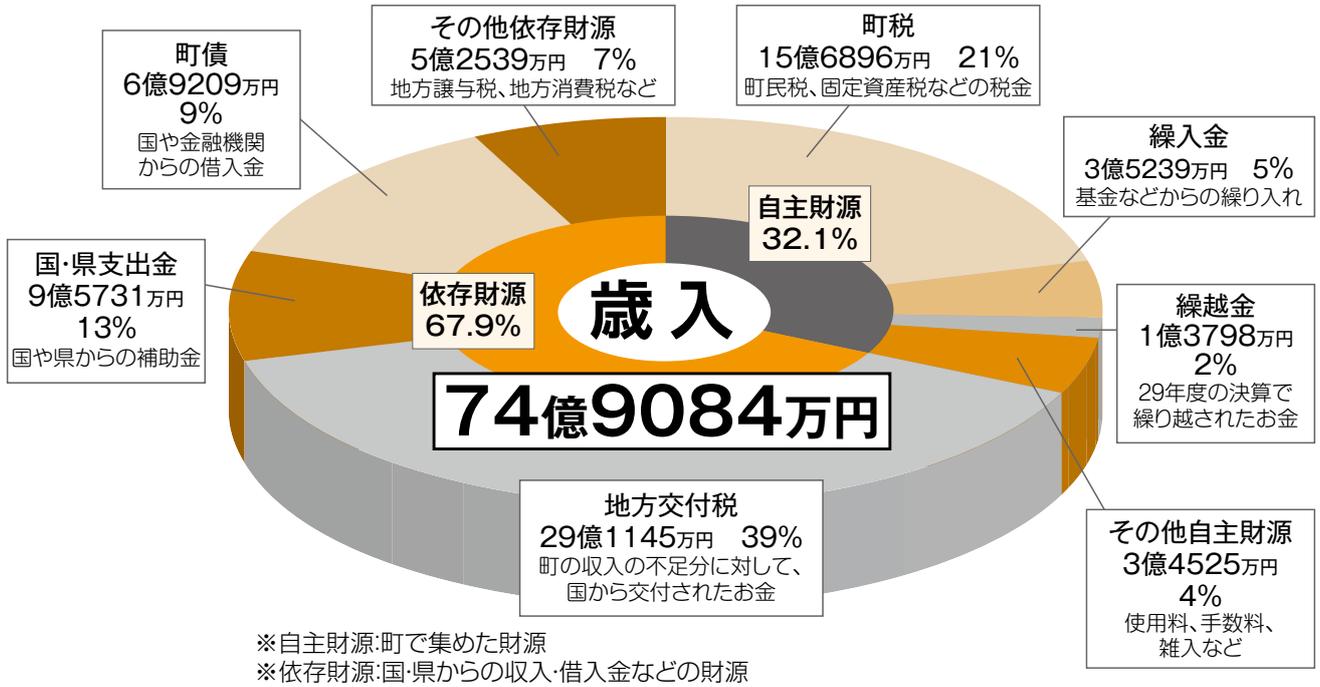
(▲はマイナス)

平成30年度
決算

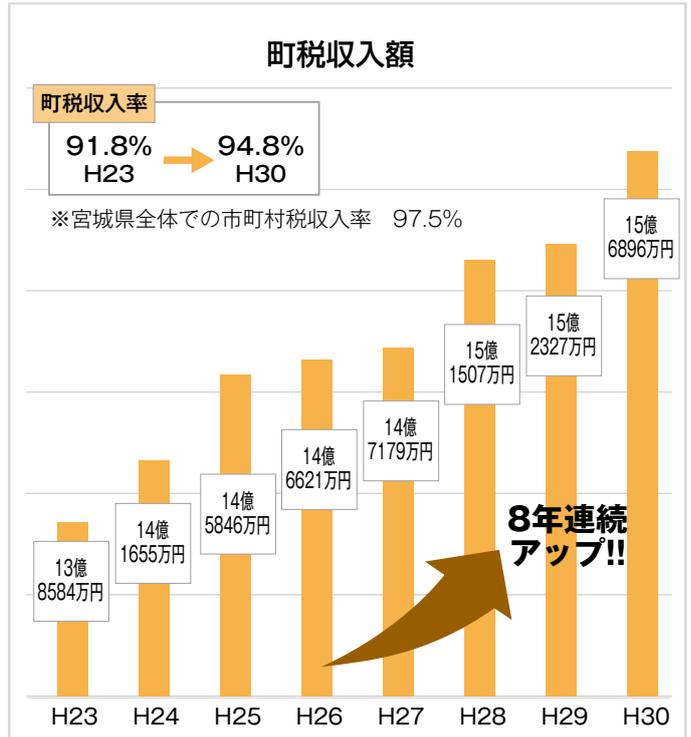
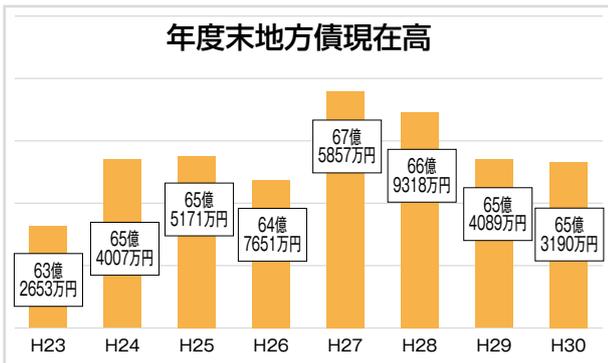
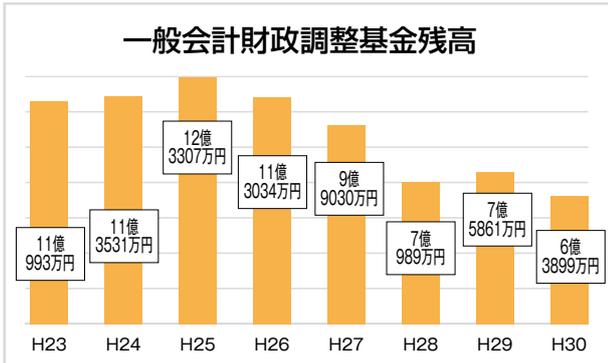
一般会計歳入歳出決算の概要

町税収入額は堅調に

経常的経費83%(うち人件費は17%)、



※繰入金及び繰越金の一部については、実質国庫支出金などであるため、その他依存財源に含まれています。



一般会計
監査意見

常に財政分析指数をチエックし、
健全で効率的な行財政運営を

監査委員 遠藤 要之助
後藤 洋一

主要財政分析指標の
推移について

実質収支比率
適正な範囲を下回っているが、予算執行は適切に行われている。

実質公債費比率
早期健全化基準(25%)を下回っており、財政状況は楽観はできないものの、比較的安定している。

経常収支比率
75%以下を大きく上回る94.0%となっており、前年度より改善はしたものの、財政が硬直化している状況にある。

行財政運営においては、常に財政分析指数をチエックし、健全で効率的な行財政の運営に努められるよう望む。

財政分析指標の推移 (普通会計)

区分	28年度	29年度	30年度	備考
財政力指数(3か年)	0.36	0.37	0.38	1に近いほど財政力が強い
実質収支比率	5.7	2.7	1.9	3~5程度が望ましい
経常収支比率	94.7	94.2	94.0	75以下が望ましい
実質公債費比率(3か年)	11.4	12.6	12.1	

特に印象に残った
公金亡失事案と
財政非常事態宣言

29年度に発生した

公金亡失事案

初動における指示のま
ずさから、議会を巻き込
んでの対応にまで発展し
た。このことは、事務執
行責任者である町長、副
町長の出す指示がいかに
大切であるかを、明確に
物語っている。

年度末に突然出された

財政非常事態宣言

財政分析指標の数値は
おおむね安定しているが、
財政調整基金だけは心配
される状況であった。た
だ、それだけであらうに
全国的に宣言したこと
については、いささか疑
問であり、内部発表にと
どめておくべきであった。
今後、このような事案
に対しては、その手法を
熟慮の上に判断されるこ
とを望む。

水道事業会計 意見

事業の広域化必要

町人口の減少とともに、
有収水量、給水戸数、給
水人口の減少もしいに
進行する。事業の広域化
を視野に入れて、対策を
検討すべきと思われる。

有収率向上に努力を

今年度の有収率は、前
年度対比で0.9ポイント
下回った。今後は漏水
対策などを徹底し、向上
に向けさらなる努力を望
む。

会計は健全性保つ

会計は健全性を保って
いるが、今後想定される
料金改定に向け、その時
期や改定幅など、慎重な
検討を望む。

未収金の回収 向上

料金未収金の回収につ
いて、現年度分、過年度
分ともに収納額や収納率
が向上したことは、その
努力を認める。

国民健康保険
病院事業会計 意見

他施設との連携 重要

今後、病院の機能分担
がさらに進み、近隣の病
院や診療所、介護施設な
どとの連携が肝要である
と思われるので、しっか
りと取り組まれることを
望む。

常勤医師確保に努力を

本年度は、医師の年度
途中での退職や体調不良
による診察対応の減少な
どにより、医業収益に多
大な影響が出た。
今後は、常勤医師の確
保に努力され診療体制を
確立し、医業収益の改善
を目指してさらなる努力
を期待する。

持続可能な経営を

公立病院には、公共性
と経済性を図り、持続可
能な経営が期待されてい
る。当国保病院において
も、これに応えるべくさ
らなる努力を望む。

決算審査特別委員会

平成30年度の各種会計決算について、決算審査特別委員会を設置し、9月24・25日の2日間で審査を行いました。

主な質疑と答弁を掲載します。



久 勉 委員長

一般会計決算

民生費

鈴木 英雅 委員

子どもの虐待予防に地域の協力を

問 児童虐待予防や対応について、各地区の住民の協力も必要では。

答 地域で見守る体制を目指しており、行政区域長、児童民生委員などからも多くの相談をいただいている。

稲葉 定委員

在宅の要介護者全員に紙おむつ購入券の支給を

問 在宅の要介護者への紙おむつ購入券の支給は涌谷町の姿勢を問われる事業でもあり、支給対象を拡大して継続すべきだと思うが。

答 自宅で介護をしている非課税世帯を対象に支給しており、今後も現在の事業を継続していく。

決算審査

衛生費

杉浦 謙一 委員

実績ない事業

周知の徹底を

問 特定不妊治療助成事業の実績がないのは、周知不足なのではないか。

答 平成30年度から実施した事業でもあり、PR不足であったことは否めない。

今後、より多くの町民に周知するよう努める。

商工費

竹中 弘光 委員

企業誘致 進展は

問 黄金山工業団地への誘致企業対策の感触は。

答 企業立地フェアや企業立地セミナーに参加し、得た情報をもとに個々の企業訪問を行っている。

県との信頼関係もできてきて、県内に土地を探している企業の情報も提供してもらえようになつてきた。



工業団地の完売だけでなく、町内企業の定着・発展も町の活性化に不可欠です

農林水産業費

佐々木みさ子委員

事業を活用し

施設園芸の振興を

問 県が定めた「みやぎ園芸特産振興戦略プラン」を当町でも大いに活用すべきではないのか。

答 施設園芸の設置導入支援事業を広く周知し、PR活動に努めていく。

杉浦 謙一委員

世界農業遺産

町の関りは

問 大崎地域が世界農業遺産に認定されたが、町としての取り組みは。

答 1市4町でつくる世界農業遺産推進協議会で映像や副読本の制作、周遊ルートづくりなどの事業を行っている。

協議会委員として町長、幹事として農林振興課長が会議などに参加している。

大友 啓一委員

農作物の病害虫防除
ドローン利用できないか

問 今後、無人ヘリによる病害虫防除の需要が増えると思うが、ドローンの利用は考えないのか。

答 作業の効率性や経費など詳細には検討していないが、今後、ドローンについて農作物病害虫防除協議会で検討する予定である。



作業効率は無人ヘリ、経費はドローン？ 町としての検討を期待します

大泉 治委員

金のいぶきのブランド化
推進を

問 農協と連携し最大の力を発揮できるような体制を取り、金のいぶきのブランド化を推し進めてもらいたいがどうか。

答 涌谷産の金のいぶきは、当町が日本初の産金地であることを合わせて、金と金をプラスしてストーリー性を持ってPRしていく。関係機関と協力しながら進める。

鈴木 英雅委員

農業振興に
熱意持って取り組んで

問 当町の基幹産業は農業であると声高らかに発信しているが、振興策の熱意が見えない。

答 意欲のある農業者が就農できる環境を整え、よりよい形で支援ができるよう関係機関と連携を密にして進めていく。

土木費

竹中 弘光委員

**空きが目立つ町営住宅
まとめては**

問 町営住宅の空き室が目立っているが、移転してもらい、まとめることはできないか。

答 移転には引越し費用や家賃が高くなるなどの経済的負担がある。民間住宅の借り上げなども含め、検討していく。

大友 啓一委員

**観光客増加に備え
道路の整備を**

問 日本遺産認定を契機に他市町村からの来町者が増えると思うが、笹岳山線などを観光道路として整備を進める計画は。

答 笹岳山線については、今年度、斎場付近の舗装の打ちかえや石仏公園手前のカーブの改良を計画している。



笹岳山や笹峯寺は日本遺産の構成文化財 おもてなしは道路から

決算審査

教育費

佐々木みさ子委員

**幼稚園にも地元農産物を
利用した給食を**

問 町外の業者の弁当ではなく、地場産の農産物を利用した学校給食を幼稚園にも提供できないか。

答 配膳のための人員の配置や、給食の搬入口、冷蔵庫の設置などが必要。給食センター内の機材も老朽化しており、更新が迫っている。

稲葉 定委員

**地場産給食で
流入人口の増加を**

問 地場産品を多く使い、他町がうらやむような給食を提供して流入人口の増加の一助としては。

答 給食における地場産品使用率は県内でも上位であり、年間を通して使用している。

佐々木敏雄委員

**幼稚園の弁当
不公平感は**

問 さくらんぼこども園は園内給食、各幼稚園は弁当であるが、不公平感など保護者からの苦情、要望はなかったのか。

答 弁当給食の評判は悪くないと考えている。幼稚園で弁当給食を開始してから、こども園の給食と比較しての要望などは教育委員会へ入っていない。

後藤 洋一委員

**婚活事業
広域的な連携で**

問 大崎圏域と連携・協力し、出会いの場の確保に町を挙げて取り組む必要があると考えるが。

答 大崎管内のお祭りやイベントなどの交流の場も、婚活事業に結びつけることができると思うので、検討していく。

介護保険事業勘定
特別会計決算

後藤 洋一委員

2025年問題

介護予防の取り組みを

問 団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据えて、地域包括ケアの推進を含め、介護予防の取り組みに努めてもらいたい。

答 介護予防事業、総合支援事業といった予防事業をメインに取り組みながら、健康寿命の延伸につなげていく。

下水道事業

会計決算

伊藤 雅一委員

料金上げないよう

経費の削減を

問 事業を運営する経費と料金のバランスを常に考えながら、経費の削減に一層の努力をすべきでは。

答 経費の節減については町だけではなく、近隣の市町村と連携を深め、スケールメリットが出るよう進めていきたい。

国民健康保険
病院事業会計決算

佐々木敏雄 委員

今後の病院運営は

問 年度末の現金が1800万円で、一時借入金で1億9000万円未償還であった。5月末には支払ったと聞かすが、現金の工面はどうしたのか。今後の運営をどのように考えているのか。

答 償還には令和元年度一般会計からの繰入金で充てた。医師確保などを最優先にし、経営の健全化を図っていく。

伊藤 雅一委員

早急な経営対策を

問 当年度純損失額が前年の2倍近い額となり、早急に経営対策が求められているように考えるがどうか。

答 病院改革プランや中期経営健全化計画など、それぞれの取り組みを進めて健全経営・黒字化に持っていく方針を立てているので、それに向かって邁進していく。



健康パークの管理委託 詳細な内容の把握を

討論

平成30年度
涌谷町各会計歳入歳出
決算の認定について

反対

稲葉 定 議員

指定管理施設のうち、健康パークへの委託料の内容が明確ではない。監査委員からの指摘もあったが、きちんとした説明資料の提示もなく、次年度はしっかりしたものにするとのことだが、信頼性に欠ける。

9月会議採決状況

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わらない

件名	竹中弘光	佐々木敏雄	佐々木みさ子	稲葉定	大友啓一	只野順	後藤洋一	伊藤雅一	久勉	杉浦謙一	鈴木英雅	大泉治
平成30年度涌谷町各会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長

ズバリ

9月会議では、9月19日・20日に一般質問が行われ、9人の議員が町政全般について質問しました。

質問と答弁は、質問した議員が600字以内で要約し、広報分科会委員が調製したものです。

町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。

涌谷町ホームページ URL
(<http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)
一般質問動画配信ページ QRコード



町政をただす

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問い、報告や説明を求め、よりよい方向へ導くものです。

後藤 洋一 議員 (12 ページ)

- 1 涌谷スタジアムの管理運営について問う

稲葉 定 議員 (13 ページ)

- 1 涌谷町の指定管理の現状と今後を問う

伊藤 雅一 議員 (14 ページ)

- 1 涌谷町財政再建計画（素案）と国民健康保険病院事業会計について

久 勉 議員 (15 ページ)

- 1 涌谷町財政再建計画の策定にあたり、十分な現状分析をすべきでは
- 2 一般競争入札の参加基準である評価点を見直すべきではないか

杉浦 謙一 議員 (16 ページ)

- 1 高齢者が健やかに暮らせる施策の考えは
- 2 水道料金の改定は

竹中 弘光 議員 (17 ページ)

- 1 消防団活動について
- 2 子育て支援について

大友 啓一 議員 (18 ページ)

- 1 廃校小学校と園舎の転用について

鈴木 英雅 議員 (19 ページ)

- 1 職員定数管理の見直しについて

佐々木敏雄 議員 (20 ページ)

- 1 財政再建計画（素案）策定経過と今後について
- 2 職員任用（採用）等に関する対応と職員管理の考え方について